

但馬地域ビジョンとは

但馬地域の住民一人ひとりが但馬の「夢」を描き、その実現に向けて何ができ、何をしていくべきか、知恵を集結して形にすることを趣旨として策定されたものです。

将来像・行動目標と目指すべき方向

将来像

自立の郷

地域の力を結集した「活力みなぎる“たじま”」

賑わいの郷

交流人と共に創る「楽しみあふれる“たじま”」

癒しの郷

自然や文化、風土を活かした「潤いと安らぎに満ちた“たじま”」

慈しみの郷

共に励まし、助け合って「生きる喜びを分かち合う“たじま”」

行動目標

人づくり

但馬の人・暮らしを育む

産業づくり

但馬の産業・しごとを革新する

誇りづくり

但馬の魅力・誇りを伸ばす

安心づくり

但馬の安全・安心を守る



「但馬力」の向上・発揮

目指すべき方向 「あしたのふるさと但馬 ～コウノトリ翔る郷～」

「あしたのふるさと」とは、そこに住む人々だけでなく、訪れる人々とも、共に安らぎや感動、共に生きる喜びを分かち合える「交流・共生」の地域の姿です。



シンボルプロジェクト 但馬地域ビジョンの実現に向けた取り組み

「夢但馬2014」の継承・発展 (次世代につなげる地域づくりとおもてなしによる交流の拡大)

但馬地域ビジョンについては、ホームページで公開しています。▶ <http://web.pref.hyogo.lg.jp/tjk04/vision.html>

但馬の魅力や豊かさが見える 但馬力指標

人づくり	★地域の異なる世代の人とつきあいがある人の割合	67.9%	(県内 No2)
産業づくり	★自分の仕事にやりがいを感じる人の割合	68.6%	(県内 No1)
誇りづくり	★住んでいる地域に誇りや愛着を感じる人の割合	71.3%	(県内 No1)
安心づくり	★家庭で災害に対する自主的な備えをしている人の割合	49.0%	(県内 No1)

但馬を表す「但馬力指標」の詳細はホームページをご覧ください。

但馬夢テーブル委員会に関するお問い合わせは下記までご連絡ください。

但馬夢テーブル委員会事務局
(但馬県民局 地域政策室 地域づくり課 夢但馬・ビジョン担当内)

〒668-0025 兵庫県豊岡市幸町7-11 ●TEL 0796-26-3615 ●FAX 0796-23-1476



27但馬©2-005A4

第24号
2016.2

たじま 夢 つうしん

但馬が描くビジョン「～あしたのふるさと但馬～コウノトリ翔る郷」

但馬に住む人々、また訪れた人も共に安らぎ、感動、生きる喜びを分かち合える地域を目指します!



Contents

- 第7期委員長・副委員長あいさつ
- 第7期グループ実践活動の紹介
- イベントの開催
 - ・夢カフェ
 - ・但馬地域夢会議
- 但馬地域ビジョンとは
- 但馬の魅力や豊かさが見える但馬力指標



詳しい活動内容は

『但馬夢テーブル委員会』Facebookページを見てね!
<https://www.facebook.com/yumetable>

第7期 但馬夢テーブル委員会



委員長 浮田 喜弘

楽しもう！～但馬は夢のワンダーランド～

早いもので第7期但馬夢テーブル委員会の活動も2年が経とうとしています。6期、7期の計4年間、委員長という大役を拝命し、経験豊富な諸先輩方、夢溢れる若いメンバー、事務局の方々のお力添えをいただきながら、ご迷惑をおかけしながらも何とかここまでやってこられました。但馬夢テーブル委員会がご縁でお世話になった方々へ改めて感謝申し上げます。

但馬地域夢会議「ユメトーク～夢を語れ！但馬大好き人～」では、次代を担う高校生に将来の夢を語っていただきました。また、県民参加のカフェ型ワークショップ「夢カフェ」では、但馬3市2町を巡り、地域の方々にごつばらんに意見交換ができました。その他、但馬まるごと感動市、～夢をお菓子に！～TAJIMAスイーツ高校生バトル、菓子祭前日祭、但馬のまほろばロードサイドステーションフェスタ、玄武洞ライトアップイベント、日曜さわやかトーク、近畿地区人間力大賞などなど、たくさんのイベントや番組に参加・出演し、私たちの思いや活動を大いに発信・連携できたのではないかと思います。

まちづくりは、何よりもまず私たち自身が楽しむことです。そして、この「楽しもう！」の精神をひとりでも多くの方々の心へ伝播させることが大切であると思います。そして、ワクワクドキドキの私たちのふるさと但馬を、次代を担う子どもたちに繋げていければと考えます。

但馬は夢のワンダーランド！ 今後とも但馬夢テーブル委員会をどうぞよろしくお願いします。



副委員長 中島 健夫

第7期夢テーブル委員会を振り返って

あっという間の2年が過ぎました。この間、各グループでさまざまな実践活動が展開されました。「但馬いかそうかい」グループは、但馬の地域資源を活かし、この土地ならではの水量と水圧で小水力発電を試み活動しました。

お菓子で但馬をもりあげようと活動している「タジマモリあげ隊」グループは、但馬ドームでの「但馬まるごと感動市」において、「TAJIMAスイーツ高校生バトル」を開催しました。今年で第3回目となり多くの人に知られた大会になりました。但馬地域の各高等学校にご協力いただき、新たな感動も生まれました。

また、地域の住民を交えて意見交換や交流を行う「夢カフェ」では、浜坂子育て支援センターにて子育て中の方と、地域の良い所、未来に残したいものを意見交換しました。この地域でしか聞かない料理、地元ならではの魅力的な祭など、若い世代の視点で、未来に残したいものが多くありました。

これらの企画・実施に関わられた事を嬉しく思います。但馬にしかない魅力は、まだまだたくさんあります。それはその地域では当たり前のものであっても、見方を変える事で色々な発見が出来ます。そのお手伝いが出来ればと思います。



副委員長 太田 佐千子

但馬人の覚醒

この2年間で私たちは、朝来市、香美町、新温泉町で「夢カフェ」を開催し、主に子育て中の若い女性にターゲットを絞り、地域の未来を考えました。

今、但馬はどの地域も同じように少子化という深刻な問題をかかえています。このままでは但馬の多くの地域が消滅してしまうとさえ言われています。幼い子どもを育てていると、行動範囲や視野が狭くなりがちです。しかし、そんな子育て中の方にこそ、こういった活動に参加して頂くことが大切です。夢カフェが、意識を変えるきっかけになれば幸いです。

近年の情報伝達手段はめざましく進歩し、都会と田舎の文化の格差は今後ますます小さくなっていくことでしょう。このことは、但馬に暮らす私達に大きな可能性をもたらしてくれます。たとえば、但馬で何かおもしろいことがあれば、それがすぐに世界中に知れ渡るということです。

夢テーブル委員のグループ活動は、どれもとてもおもしろいものなのですが、まだ十分に伝えきれていないように思います。今後の課題はそこにあるのではないのでしょうか。今こそ、私達但馬人は覚醒し、新しい価値観を世界に示していきましょう。"但馬と共にあらんことを"。

最後に、私にできたことはほんの少しだったような気がしていますが、少しでも前に進めたことは皆様のご協力のおかげです。本当にありがとうございました。

但馬いかそうかい

「但馬の過疎をいかす、但馬の自然をいかす、但馬の人をいかす」を合言葉に、現在、但馬における水力発電の可能性を探ろうと取り組んでいます。

今年は神鍋高原で発電実験を試みましたが、水量不足の為失敗、現在は「ピコ発電で地域を変えるプロジェクト」に取り組んでいます。小さな水路でも発電できるハブダイナモを利用した小さな発電システムを会員で製作する準備にかかっています。2月には完成させ3月のお披露目を目指して活動しています。

水力発電を身近に感じていただき、地域の水路には沢山のピコ発電が設置され、自家製電気、自然エネルギーが地域を変えていく…のが私達の夢です。



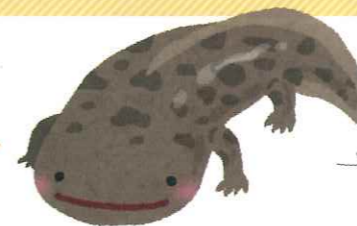
Group members

- | | | |
|-------|-----|----|
| リーダー | 熊田 | 得男 |
| 副リーダー | 本田 | 治 |
| 副リーダー | 濱崎 | 忠史 |
| 広報担当 | 辻本 | 康次 |
| | 大谷 | 幸司 |
| | 大西 | 英剛 |
| | 片山 | 正己 |
| | 日下部 | 建夫 |
| | 曾我 | 一作 |
| | 田淵 | 兼光 |
| | 中西 | 正芳 |
| | 中尾 | 康彦 |



Group members

- | | | |
|-------|----|-----|
| リーダー | 竹森 | 明光 |
| 副リーダー | 杉山 | 隆一 |
| 広報担当 | 井上 | 嘉文 |
| | 田中 | 正 |
| | 中島 | 健夫 |
| | 沼田 | 秋子 |
| | 福田 | あつ子 |
| | 前田 | 敦司 |
| | 前田 | 由香里 |
| | 水谷 | 保昭 |
| | 森本 | 七重 |
| | 久保 | 千賀子 |
| | 本井 | 裕司 |



自然ゆめ探検隊

但馬での自然体験活動を通じて但馬の良さを再発見し、但馬の魅力を発信する活動をしています。

今年は、生野町に生息しているオオサンショウウオの観察をしました。寿命が300年とも言われ、昼間は岩影などに潜み、夜になると活動します。

また、ホタルといえば川の水がとても綺麗な山間部などに生息していますが、海の中にもホタルと名の付く海ホタルが居ます。体長が数ミリの肉食で、海岸沿いで光を放つホタルの観察は幻想的です。

円山川のカヌー下りでは、川の流れに任せのんびりと景色を堪能したり、早瀬を乗り切る緊張感や達成感を体験しました。

但馬には山と海と川など自然がいっぱいあります。こうした魅力的な資源や自然を、工夫し活かした体験を発信していきます。





第3回～夢をお菓子里に～
TAJIMAスイーツ高校生バトル



タジマモリあげ隊

- Group members
- リーダー 太田 博章
 - 副リーダー 萩原 哲也
 - 広報担当 上村 俊雄
 - 伊藤 千可志
 - 浮田 喜弘
 - 太田 佐千子
 - 岡本 雄一郎
 - 木下 道則
 - 小林 一英
 - 仲島 陣
 - 脇本 充
 - 出田 悦子
 - 久保 千賀子
 - 本田 治

お菓子の神様「田道間守命」に着目し、お菓子里で但馬を盛り上げ、夢や希望、故郷への愛着・誇りなどを感じてもらえる取り組みをめざし活動しています。

今年開催した「第3回～夢をお菓子里に～TAJIMAスイーツ高校生バトル」では、「優勝は…、但馬農業高校 のっぽTOちびチーム!」、一瞬の間があいた後、チーム名を呼ばれた二人のメンバーの目には涙が浮んでいました。客席からは拍手の波が押し寄せています。情熱と冷静とが交錯していくステージの上、今年も但馬の高校生たちによる、甘くて熱いお菓子里の決戦を「コウノトリ翔る 但馬まるごと感動市」の中で開催することができました。

但馬には、まだまだ多くの宝が、人に知られることなく眠っています。そんな宝のひとつひとつに光をあて、感動と出会い、明日への希望としたい。お菓子里の力でこの但馬に夢と希望があふれるように、タジマモリあげ隊、これからがんばっていきます。



但馬食物語

- Group members
- リーダー 久保 千賀子
 - 副リーダー 村瀬 晴好
 - 広報担当 畑中 照久
 - 広報担当 鈴木 千佳
 - 広報担当 松岡 茜
 - 広報担当 三輪 翠
 - 河原 学
 - 川見 和秀
 - 小島 義明
 - 藤原 文男
 - 片山 正己

私達のグループは、「食べもの1つ1つには物語がある!」をテーマに活動しています。

例えば、但馬を代表する食の1つ「但馬牛」にも、長い歴史や様々な思い、言い伝え等が存在します。「黒毛和牛の母牛の99.9%は、田尻号(但馬牛)の子孫であり、日本のほとんどの黒毛和牛のルーツは但馬牛である。」と言う事実も広く知られていません。

地域の大事な宝物である「食」を守っていくために、但馬の「食」の裏話を集めた小冊子を作成します。生産者しか知らない話や珍味など、地元の方はもちろん、観光客の方も「但馬ファン」になってしまうような内容を考えています。

大人になってからは、遊び感覚で楽しむことが少なくなってきましたが、但馬夢テーブル委員会は、楽しくやり甲斐のある遊びをやる、他にはない面白い集団です。

神社仏閣を知ろう!



但馬の歴史ある神社仏閣を巡って学びながら、歴史を学習し、但馬地域のおもしろさを分かりやすく発信する活動をしています。

今年の活動は、豊岡・日高・浜坂あわせて13社寺、朝来・生野で3社寺と、鳥取県三朝の「三徳山投入堂」の見学をしました。大瓶束(たいへいづか)、墓股(かえるまた)、など難しい用語もあり、身近にあっても見慣れているようで、なかなか理解は出来ない社寺ですが、みんなでその歴史や背景を紐解きながら見学すると、新しい発見や驚きがあり、お互いに教え合うことで理解が深まっていきます。そして、また新たな謎や疑問が生まれ、次の楽しみに繋がります。こうして地域の宝物をひとつずつ発見していけたらと思います。



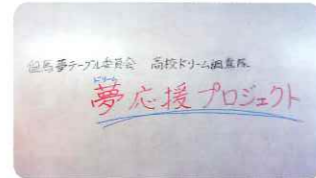
- Group members
- リーダー 中尾 康彦
 - 副リーダー 岸田 明美
 - 広報担当 本井 裕司
 - 小山 昭二
 - 西垣 善夫
 - 平尾 仁
 - 三木 怜
 - 水上 健治
 - 守山 織衣
 - 森脇 圭一
 - 出田 悦子
 - 上崎 喜代美
 - 曾我 一作
 - 藤原 文男

高校ドリーム調査隊

「但馬で頑張る高校生を応援したい」その思いから私たちは立ち上がりました。主な活動として高校生の催すイベント等の取材を行い、Facebookページで高校生の記事を公開しています。

また、今年は高校3年生を対象とした講演「夢応援プロジェクト」を開催しました。高校ドリーム調査隊メンバーによる新生活への心得や都会生活の注意事項に加え、講演先の高校OBによる一人暮らしのイロハ、夢実現へのアドバイスなど、盛りだくさんの内容でした。講演後には、高校生からの質問があり良い企画となりました。

今後も但馬の高校生を応援し、多くの方へ但馬の盛り上がりを伝えていきます。



Group members

リーダー	岡坂 遼太
広報担当	渡邊 正則
	伊木 翔
	谷垣 宏樹
	岡田 俊二
	仲山 啓一郎
	西垣 義嗣
	松原 慎吾



Group members

リーダー	吉田 順一
副リーダー	大林 守
広報担当	中島 正
広報担当	村上 隆司
	家木 猪一郎
	出田 悦子
	上崎 喜代美
	西村 孝志
	山根 荘一
	吉谷 周作
	井上 嘉文
	小山 昭二
	中尾 康彦
	西垣 善夫



但馬古民家探訪

但馬の風土から生まれ、守られてきた古民家をもとに、但馬の人たちの生活や、その保存と活用を研究しています。

今年は、出石地区の伝統建造物群保存地区の見学や、大屋の大杉地区の古民家再生事業の改修現場の調査を行いました。また、数年前に訪問した日高地区内の古民家が、老人福祉施設になることを聞き、新たな分野で古民家が活用され始めていることを感じています。

さらに、高齢者大学でのフォーラムで、夢テーブル委員会の古民家探訪の活動を参考に「豊岡市の旧家を訪ねて」と題して発表されました。

活動に興味のある方や、見せていただける古民家を所有の方、知人にお持ちの方ご一報ください。



夢カフェ

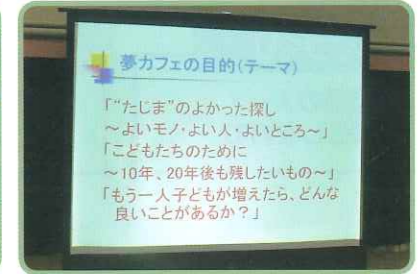
繋がりをつくる
交流の場



【住民参加によるカフェ型ワークショップ】

カフェのようなくつろいだ雰囲気の中で、但馬の将来について意見交換会や、人と人の繋がりをつくる交流の場「夢カフェ」を開催しました。

平成25年度に養父市、豊岡市、平成26年度に朝来市、香美町で実施し、平成27年は新温泉町で、「たじまのよかった探し」「こどもたちのために10年、20年後に残したいもの」などをテーマに意見交換をしました。平成28年2月には、但馬各地の子育て世代の方に集まっていただき、ワークショップを開催予定です。



但馬地域夢会議

Tajima YUME conference

但馬地域ビジョンが目指す将来像の実現方策などを検討するため、但馬夢テーブル委員や地域住民が知事や有識者等と意見交換をする場として毎年1回開催している会議です。

今年は、平成28年3月6日(日)に但馬空港ターミナル多目的ホールで開催します。一緒に但馬の将来について考えてみませんか？



(写真は平成27年3月開催のもの)

